

Interesting and Omoshiroi
「インタレストィング」と「おもしろい」

Japanese people often say *omoshiroi* after someone has told them a joke or an anecdote. They also often say it when they see an unusual object or are told a surprising fact.

The word *omoshiroi* is usually translated into English as 'interesting'. But in fact, native-English speakers use 'interesting' in a different way.

日本人は、誰かが冗談や小話を言った後「面白い」と言います。珍しい物事を見たり、びっくりするようなことを聞いたときも「面白い」を使います。

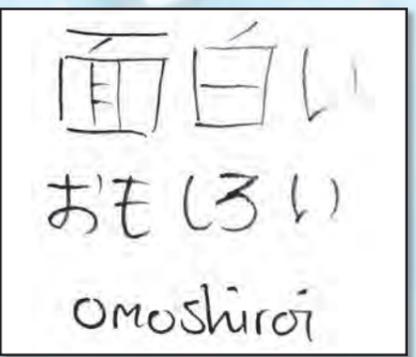
「面白い」という言葉は、英語で「インタレストィング」と訳するのが普通です。でも本当は、英語を話す人は別の意味でこの言葉を使っています。

例えば、私にとって歴史やテニス・科学・日本語の学習などはどれも「インタレストィング」です。こうすることで笑えるから、ではなく、こういうことに引き込まれたり、考えさせられたりするのが「インタレストィング」ということなのです。

英語を話す人は、笑えるようなことには「インタレストィング」よりも「ファニー」を使うことが多いです。

「ファニー」と「インタレストィング」は、本来は違う意味なのですが、日本語では同じ「面白い」という訳になってしまいます。実は、他にも「面白い」にあたる英語の言葉はたくさんあるのです。「エンターテインング(愉快的)」「アミュージング(楽しい)」「ダイバーティング(気晴らしになる)」「コミカル(こっけいな)」「ユーモラス(おかしい)」「スティミュレイティング(刺激的な)」「エンスローリング(夢中にさせる)」「キュリオス(不思議な)」などなど。どれも「面白い」の一言で表せてしまうのです。

どの言語にも、他の言語に翻訳するのが難しい単語があるものです。だからこそ外国語を勉強するのは「インタレストィング」なのです!!



↑漢字練習中のニッパの肉筆

広野文芸欄

季節を詠む 時流を読む

広野町水無月句会 猪狩行々子選



宮下 純子

峡の家の昔のままに軒草蒲
鯉のぼり尾びれ反転させ泳ぐ
つつじ咲く狭庭に見入る杖の人

暁月

健やかに過ごすふたりの夕端居
庭に吹く青水無月の風の色
キーボード打つ指止まる目借時

悟 峯

むくむくと歩道横切る毛虫かな
水引いて用意万端田植多なり
蜘蛛の巣を揺らす風あり光あり

塩 史子

強風に負けじとなびく早苗かな
松が枝の天女の衣藤の花
真昼時裏山に来るほととぎす

遠藤 恵美子

夕暮れて蛙の世界ひろがりぬ
大牡丹崩るるさまの潔し
竹の子のすくと立ちて天を指す

遠藤 健太郎

豆飯や町場に暮す叔母思ふ
盆景の小さき屋根や散松葉
草引きて光と風を通しけり

会員募集のお知らせ

広野町俳句会では、会員を募集しています。俳句に興味のある方大歓迎です。俳句を通してみなさんと交流してみませんか。詳しくは、下の連絡先までお問い合わせください。

問 広野俳句会 ☎090-7063-1676

ユニホーム着用で サッカー日本代表女子を応援

町職員は、サッカー女子ワールドカップの期間中、日本代表女子応援プロジェクトとして、日本代表ユニホームを着用して執務し、なでしこジャパンを応援しました。特に試合のある日(休庁日は直前の開庁日)は統一着用日で、役場内をジャパンプルーに染め上げました。



↑サッカー日本代表女子応援のためユニホームを着用する職員